

2022年2月25日

臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

気管支鏡検査における鉗子・ブラシ洗浄液を用いたセルブロック作成が有用であった症例の検討

2. 研究責任者

海南病院呼吸器内科医長 栗山満美子

3. 研究の概要

セルブロックは細胞検体を様々な方法で収集して固形化した後に、パラフィン等で包埋して作成した細胞診標本です。呼吸器診療において、胸水を用いたセルブロック作成は頻用されており、免疫組織化学染色を行うことでがんの組織型や原発巣の診断に有用とされています。一方で、気管支鏡検査の際に鉗子・ブラシ洗浄液を用いたセルブロック作成を行うという報告は少なく、広く普及していないのが現状です。

そこで当院にて気管支鏡検査において鉗子・ブラシ洗浄液を用いたセルブロック作成の有用性について検討することにしました。具体的に対象とするのは、2016年6月から2021年5月までの間に気管支鏡検査において鉗子・ブラシ洗浄液（ガイドシース併用気管支内超音波断層法を用いた場合はシース内洗浄液を追加）を用いたセルブロック作成を行った方です。診療記録をもとに後方視的に検討することとしています。

鉗子・ブラシ洗浄液を用いたセルブロック作成は気管支鏡検査で十分な組織が採取できなかったときに追加情報が得られる可能性があり、肺病変の診断を行う際に有用となることが期待されます。後方視的に本検討を行うことは、研究対象者への不利益及び危険性はありません。

4. 研究方法

①対象となる患者さん

2016年6月から2021年5月までの間に当院呼吸器内科で気管支鏡検査において鉗子・ブラシ洗浄液（ガイドシース併用気管支内超音波断層法を用いた場合はシース内洗浄液を追加）を用いたセルブロックを作成した方

②使用する試料等

残余検体：使用なし（追加検査等はありません）。

カルテ情報：年齢，性別，検査手法，放射線画像および病理検査結果といったカルテ記事記載内容を使用します。

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また，研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが，その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 呼吸器内科医長 栗山満美子
電話：0567-65-2511（代表）